



に い が た
県電だより

〈 新 春 号 〉



『冬間近 八海山』

撮影場所・撮影日／南魚沼市山口 平成27年11月

【コメント】

八海山は古くから霊山として崇められ、越後駒ヶ岳、中ノ岳とともに越後三山（魚沼三山）の一峰で、日本二百名山のひとつとして知られています。

八海山は四季の変化が大きく、春夏秋冬で全く違った表情を魅せてくれますので、どの季節に訪れても素晴らしい景色を堪能できます。

この時期はひと雨ごとに寒さが深まり、八海山の頂上が白くなると確実に冬が近づいていると感じます。もうすぐ深い雪に覆われ、長い冬が訪れます。

撮影者／新潟県電気工事工業組合 魚沼支部

東洋電機工業株式会社 加藤 憲章 氏

表紙写真紹介

新潟県電気工事工業組合



目次

1. 年頭のご挨拶	1
2. 地域懇談会を開催	10
3. 平成27年度「事業承継・相続税研究セミナー」を開催	11
4. 平成27年度 電気系教育・訓練機関の学生との交流事業 県央工業高校にて開催！	12
5. 第53回技能五輪全国大会 視察研修	13
6. 第31回電気工事業全国大会（中国・山口大会）に参加！	14
7. 各種表彰	16
8. 各支部だより	19
9. 各青年部だより	21
10. 第一種電気工事士定期講習の開催について	26
11. 組合員の異動・変更	27
12. 組合の保険って?! 「全日電工連 グループ共済制度」	28

【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101

HEMS対応住宅分電盤

**スマートコスモ®が
おすすめしやすい
価格で新登場!!**



AiSEG®(別売)

スマートコスモ®



HEMS対応住宅分電盤
スマートコスモ AiSEG通信型
BHN8520J
希望小売価格111,100円(税抜)

Panasonic
Homes & Living

「AiSEG」および「スマートコスモ」は、パナソニックグループの登録商標です。

Wonders!
by Panasonic

◎お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 新潟電材営業所
〒950-2031 新潟県新潟市西区流通センター1丁目1番地3号 (025)260-7711

年頭のご挨拶



2016年 年頭挨拶

理 事 長
小 林 功

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃は当工組の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみれば、1月には日本人男性がイスラム過激派組織に殺害されるという事件が起き、9月には集団的自衛権の限定的な行使を認める安全保障関連法が成立しました。昨年の世相を表す漢字には「安」が選ばれましたが、安全保障関連法の国会での審議に国民の注目が集まったことや、世界で相次いで起こったテロが人々を不安にさせたことが主な理由でもありました。

また、日本列島の各地で火山活動が活発化し日常生活や観光に支障が生じ、9月には台風の影響で関東・東北で豪雨が発生し甚大な被害が出ました。昨年もまた、自然災害に襲われた年でもありました。

その様ななかで、日本人2人のノーベル賞受賞や、ラグビーW杯での日本の躍進は、国民に明るい話題を与えるものでした。

昨年6月の通常総代会におきまして、将来にわたって組合員のための事業を円滑に実施し、それを支える健全な財務を維持していくため、「脱退時の持分払い戻し算定」並びに「加入者の出資金等納入額」について見直しを行いました。今後とも、その時々合わせた組合組織の在り方・運営について、検討を行ってまいります。また、「組合員にとって、今、何が最も必要か、真のニーズは何かを十分に検討し、みんなが幸せに

なれる業界を目指して」、昨年、それぞれの委員会で事業を展開してまいりました。

総務委員会では、当業界として喫緊の課題であるとの認識のもとで、組合員の新規加入推進方策の一環として、将来の業界を担っていく若手入職者を確保するために、電気系コースを履修する学生に対して業界の魅力をPRし、就職選択肢の一つとして考えてもらうための事業として、「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」を県内5校の工業系高校で、県青年部と共催で実施いたしました。

経営企画推進委員会では、第三者損害賠償制度が引き渡し時期に関係なく補償されるようになり、福利厚生制度の一層の充実が図られることとなりました。また、各種保険加入の把握と見直しに役立てていただくため、全組合員へ保険カルテを配布いたしました。人材育成に関するセミナーにつきましては、組合員のスキルアップ並びに知識の習得のため、5年目となる「電気工事士 現場力レベルアップセミナー」、2年目となる「事業継承・相続税研究セミナー」を継続開催いたしました。

技術委員会では、「低圧電気工事取扱特別教育」の開催について検討を重ね、本年から支部の事業として実施していただくため、支部での講師を養成するための講習会を開催することといたしました。また、3年目となる電気工事士免状交付等事務につきましては、1,200件ほどの受付実績となりましたが、滞りなく事務を取扱うことができ、組合の認知度向上並びに収益確

保に貢献することができました。

引込線事業委員会では、引込線工事作業訓練を昇降柱訓練と基礎訓練に分けて開催し、少数のグループで受講者が自分のレベルに合わせて、技能を習得できるようにいたしました。また、支部で実施する引込線実技訓練につきましても、インストラクターの派遣等、積極的に支援いたしました。仕事量の確保・拡大につきましては、いろいろな場を通じて、関係先に対して働きかけを行いました。

さて、電力システム改革では、昨年その第一段階として、電気の使用量に合わせて需要・供給の調整を全国大で行う「電力広域的運営推進機関」が設置されました。そして、本年はいよいよ第二段階として、需要家にとって最も影響が大きいと思われる「電力小売り及び発電の全面自由化」が行われます。これまで電気事業は、発電から送配電、販売までを一貫して、電力会社が地域ごとの独占体制で担ってきました。全面自由化によって事業者間の競争を促し、需要家の選択肢を増やすことで、小売りの電気料金を最大限に抑制することが主な目的です。

電力システム改革については組合員の関心も高く、昨年2支部で開催された地域懇談会でも、この件についての質問がありました。電力システム改革は、電気工事業界にとってビジネスチャンスとしての可能性もありますが、電力システム改革で生ずるビジネスチャンスが他の業界で占められ、電気工事業界の分野にも他業界の事業者が入ってくるリスクを抱えている可能性もあります。

当組合は昭和23年の創立以来、組合員の高い技術力と組合員数を背景に、電気工事のスペシャリスト集団として県内電気工事業界において確固たる地位を築いてまいりました。今後とも、的確な情報収集と迅速な対応に努め、お客様に「安全」と「安心」を提供していくという

使命を果たしていくため、本年は次の事業に取り組んでまいり所存であります。

総務委員会では、組合員数がピーク時に比べて200名余り減少し、また、県内の電気工事業者の過半数を非組合員が占める状況となっていること等から、業界における組合の地位・発言力を維持・拡大していくため、組合員の新規加入促進に取り組んでまいります。また、若手入職者確保のため、電気系教育・訓練機関の学生との交流事業について、継続して実施してまいります。

経営企画推進委員会では、組合員のニーズを捉え、時代に即した、人材育成に関するセミナーを開催いたします。また、組合員の作業中の事故や病気等に備え、日々安心して仕事に専念していただけるよう、引続き福利厚生制度の充実を図ってまいります。

技術委員会では、組合員の関心の高い「電力システム改革」について、情報の提供に努めてまいります。また、労働安全衛生関係講習会並びに技術講習会を鋭意開催するとともに、電気工事士免状交付等事務につきましても、適正に取扱ってまいります。

引込線事業委員会では、本年から開始される引込線張替工事並びにスマートメーター取付けについて、引込線会社連絡協議会と連携を図り、適正に対応してまいります。また、引続き、仕事量の確保・拡大のための取組みを行ってまいります。ゼロ災害実現のため、危険予知訓練、引込線工事作業訓練等の内容の充実に努めてまいります。

終わりに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力(株)の皆様、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2016年 年頭のご挨拶

新潟県知事

泉田 裕彦

平成28年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、様々な「新」が生まれた1年でありました。

3月には北陸新幹線が開業致しました。北陸新幹線の利用状況は好調に推移しているようであり、開業を契機として新たな人の流れが呼び起こされ、首都圏ばかりでなく、関西・北陸圏との交流が活発化していると感じております。こうした開業効果を一過性で終わらせることのないよう、首都圏や関西圏からの継続的な流動をつくり、本県全体の振興に結び付けていきたいと考えております。

6月には、「新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院」を開院致しました。これまで魚沼地域に不足していた救命救急や高度医療の提供が可能となり、地域の皆様にとって安心できる医療体制の構築に向けた第一歩が踏み出せたものと考えております。今後は、周辺医療機関との適切な役割分担と連携を進め、地域の基幹病院としての役割を果たすことはもとより、優秀な人材が持続的に集積するシステムの構築が重要となります。首都圏からの利便性や新潟大学との連携による教育体制、東京大学も参画するコホート研究など、様々な特長を活かし、医療スタッフの集積が図れるマグネットホスピタルとなるよう、県としても支援して参ります。

9月には、新潟の新しいお米「新之助」を発表しました。品質への自信とブランドとしての意志の強さ、そして愛着のある存在として定着して欲しいという願いを込めた「新之助」という名前の発表後、米どころ新潟の新しいお米として各方面で話題となっており、来年の本格デビューに向けて良いスタートが切れたと思って

おります。「きらめく大粒、コクと甘みが満ちている」という特長を持つ自信作を、ぜひともコシヒカリと並ぶ新潟の新しい顔に育てていきたいと考えております。

このところの経済動向に目を向けますと、円安基調等を背景として、輸出型大企業を中心に業績改善の動きが見られるものの、県内の多くの中小企業においては未だ景気回復の実感が乏しいのが実態です。県としましては、経営面でのセーフティネット対策に万全を期すとともに、設備投資等の促進や消費の拡大など、需要の喚起につなげる施策の展開に努めて参ります。さらに、中長期的な観点から、様々な分野で民間企業が競争力や知恵を発揮しやすい環境と仕組を整えるなど、県経済の今後の飛躍に向けた取組にも積極的に取り組んで参ります。

一方、昨今では地域のエネルギー資源を活用するために必要となる再生可能エネルギー発電設備、蓄電及び省エネルギー設備などの社会的要請が高まっており、電気工事に携わる皆様方の役割が大いに期待される所です。

こうした状況のもと、貴組合では、「新潟県太陽光発電導入促進協議会」の事務局等として、ご尽力いただいておりますことに、この場をお借りいたしまして深く感謝申し上げます。

今後も、技術力と経験をベースに電気工事における新たな分野を開拓し、飛躍されることを期待いたしますとともに、保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、県民生活の安心・安全を担う機関として、引き続きご尽力くださるようお願い申し上げます。

終わりに貴組合のご発展と皆様のご多幸をお祈りしまして、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

年頭のご挨拶

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

武田 眞二

新春を寿ぎ謹んでお慶びを申し上げます。
皆様方には清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より、当社事業に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

〈当社の使命〉

当社は創立以来、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という基本的な考え方のもと、地域に密着した経営を進めてまいりました。

これからも、新潟県と東北6県のお客さまに低廉で安定した電気をお届けし、地域とともに歩み続けていくことが、当社の使命であることに変わりはありません。

目の前にいらっしゃる地域の皆さま、一人ひとりのお客さまに対して「真心を込めた仕事」を通してこれからも皆さまから選択いただける東北電力を目指してまいります。

〈より、そう、ちから。〉

お客さまや地域からこれまでも頂戴している「ご信頼」に、これからも引き続きお応えしていけるよう、「お客さまのご要望に『より沿う』サービスの提供」と「新潟と東北の成長・発展にしっかりと『寄り添う』取り組み」を展開していくことをお約束いたします。

この2つの「お約束」を確実に実現していくため、「より、そう、ちから。」を新たにコーポレートスローガンとして設定しました。このスローガンのもと、社員一人ひとりが、地域やお客さまのために何が最善かを常に考え、真心を込めて仕事を全うし、2つの「お約束」を果たしてまいります。

〈電力小売全面自由化に向けて〉

平成28年4月から、オール電化住宅で「快適なヒートポンプ暖房を、もっとお得に使いたい」

というお客さま向けの料金プラン等、お客さまのご要望に“より沿う”新たな3つの料金プランをご用意しております。

また、新たなWebサービスサイト「よりそうeネット」、「よりそうeポイントサービス」を開発いたします。今後も、料金プランの更なる拡充を図るとともに、各種サービスの利便性・機能性の向上等、付加価値を高める取り組みを進めてまいりますので、様々な機会を通じて「お客さまの声」を当社にお寄せいただきますようお願いいたします。

〈引込線委託工事の施工範囲拡大に向けた連携強化〉

これまで貴組合のご協力をいただき、電気新增設申込みに伴う低圧引込線新設工事（引込線委託工事）を実施いただいておりますが、平成28年1月からは、これに加えて電気新增設申込みを伴わないメーター取替工事もお願いすることとしております。さらには、平成28年度からの引込線張替工事の施工範囲拡大に向けて準備を進めております。

これまでと業務が大きく変化していくこととなりますが、綿密な連携のもと、引き続きご協力をお願いいたします。

〈ゼロ災とゼロ疾病に向けて〉

新潟支店管内における請負工事会社における災害発生件数は、平成27年11月末時点で12件発生しており、昨年と比べ1件減少しております。原因を分析してみますと、ハチ刺され5件、熱中症4件、崩壊・挟まれ・激突されが各1件ずつとなっております。

働く仲間から災害は絶対に発生させないという強い決意のもと、ゼロ災達成を目指してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

貴組合の皆さまにとって幸多き一年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。 以上

年頭のご挨拶



入しやすい組合をめざして

総務委員長

有 坂 友 栄

新年あけましておめでとうございます。昨年
から総務委員長を仰せつかっております有坂で
ございます。日頃は当委員会の運営にご協力頂
き、感謝申し上げます。

さて、当委員会では「組合脱退時の出資金等
の払い戻し要件の見直し」について検討を進め
てまいりましたが、昨年の総代会におきまして、
この脱退時の持ち分の払い戻しを出資額限度に
変更することについてご承認いただきました。
これは組合運営の健全化のためには避けて通れ
ないことであり、まずは第一ステップをクリア
したことになります。

〈組合員の新規加入の促進〉

次は、「新規組合員が加入しやすい方策の実
践」であります。組合員が年々減少している中
で、これは今まさに検討中の課題であり、支部
ごとで違う加入金や出資金をいかに平準化でき
るかが一番の問題であります。各支部で歴史や
事情も異なっており、加入時の負担額について
の支部からのアンケートをもとに、現状を把握
しながら検討を進めてまいります。検討の結果、
加入金等の負担額が減額となり、新規加入者が
増えることとなれば、組合運営にとっても大き
なメリットとなります。皆様の力強いご協力
をお願い申し上げます。

〈若手入職者の確保〉

また、各支部との地域懇談会でも必ずといっ
てよいほど質問があるのが、人材不足と後継者
難の問題であります。若手が入らず人材不足で
ある、後継ぎがいなく先の見通しが立たない等
よく聞く話であります。

人材不足の件につきましては、平成26年度か
ら県青年部と共催で「電気系教育・訓練機関の
学生との交流事業」を実施し、県内の電気系工
業高校に出向いて電気工事業界のPRや電気工
事の実演等を行い、学校側から要請があれば電
気工事士試験の指導等を行い、先生方からも大
変ご好評を頂いております。

平成27年度は五つの電気系工業高校へ出向く
ことが決定しており、地元支部の青年部を中心
に検討・準備を行っているところであります。
今すぐに100%の成果は望めるものではありませんが、徐々に浸透し電気工事業界への雇用促
進につながる事と期待をしているところであり
ます。

このように、当委員会は組合員にとってメ
リットのある事業を重点目標として進めてまい
ります。本年も変わらぬご指導、ご協力をお願
い申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



さらなる一步をめざして

経営企画推進委員長

山本 進

2016年の年頭に当たり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

日頃は当委員会の運営にあたり格別のご協力を賜りまして、心より御礼を申し上げます。

さて、当委員会の活動を述べさせて頂き、年頭の御挨拶としたいと思います。

【人材育成に関するセミナーの開催】

多岐にわたる当委員会活動の4本の柱のうちの1本であります。

新入社員から2・3年位の社員を対象とした「現場力レベルアップセミナー」の充実を図り、また今までに100人以上の受講者を出している「リーダー育成セミナー」の復活を行います。

また、前年行い好評でした後継者承継問題等に対処すべく、「事業承継、相続税研究セミナー」を開催いたしました。

事業承継、遺産相続問題等、身近でどこでも起こり得る問題への対応等、このセミナーはまだまだ続けていかなければと思いますし、重要なセミナーの一つに育てたいと考えております。

【新時代の変化に応じた新商品、新技術の研究】

雪国ならではの壁面型の太陽光パネルでの発電、HEMSへの対応等を研究模索しているところでもあります。2020年までにゼロエネルギーハウスを標準的な新築家屋とし、2030年には新築家屋の平均でゼロエネルギーハウスにするという工程表も出されました。

法的には適合義務化は2020年以降を予定し、その後は確認申請が通らなくなる可能性もあるわけです。

現在、我々の業界がまだまだ本気で取り組んでいない分野でもあり、かって蓄熱暖房、エコ給湯等を含めたオール電化をやれないと、電気屋として残っていけないという時代と同じ事が

起こることが確実視されますので、真摯な態度で取り組みたいと思っております。

その際のキーワードは、消エネの「使わない」ではなく「賢く使う」になると思います。

【製・販・工懇談会】

エコ研究部会の最大の行事です。

今年度は基調講演の後にパネルディスカッション方式で、今まで出席をお願いしていなかったLED照明メーカーさんにも出席をお願いしたりして、意見を拝聴する等趣向を変えて行う予定です。

「地方経済の活性化について」というメインテーマのもと、「地方ビルダーと一緒に考えるこれからのHEMSとゼロエネルギーハウス」、「どうなるこれからの電材ルート」、「5年後のLED照明の姿とは…」等について懇談する予定です。

【福利厚生制度の充実】

今まで以上に全日電工連というスケールメリットを生かして、保険カルテの利用、第三者損害補償制度、業務災害制度、組立保険制度等の補償制度の充実を目指しているところです。

特に組立保険制度は、今年度から募集を開始した保険ですが、募集期間の短さや周知徹底が図れなかった点等があり、あまり加入件数が多くありませんでした。

もう少し少ない掛け金で大きな補償というメリットを発信する予定であります。

当委員会におきましては、「役に立つ」、「実績を残せる事業」が基本にあると考えておりますので、楽しく協力出来るを目指してやっていきたいと考えております。

今年もまた、組合員の皆様のご協力をお願い申し上げます、ますますのご健勝をご祈念申し上げます。

年頭のご挨拶

人材発掘・育成を推進

技術委員長

齊藤 淳

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

さて、昨年、技術委員長を拝命し委員会の運営に努めてまいりましたが、おかげ様で皆様のご協力とご理解を賜り、委員会事業を円滑に進めることができました。

平成27年度も残すところあと3カ月足らずとなりましたが、1月下旬には「職長・安全衛生責任者教育」、また、3月下旬頃には新規事業として「低圧電気工事取扱特別教育」を予定しております。

なお、「低圧電気工事取扱特別教育」につきましては、当年度の開催に向けて検討を行ってまいりましたが、受講対象者が多数にのぼることから、平成28年度から支部の事業として開催していただきますよう、当年度は本部で支部開催時の講師養成の講習会といたしました。どうか、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

私ども電気工事業界でも、人材不足や技能継承が課題となっておりますが、昨年12月、千葉県幕張メッセで行われた「技能五輪全国大会」を技術委員会で視察し、深い感銘を受けました。全国大会では、電工はじめ41職種で約1,200人の23歳以下（一部の職種は25歳以下）の若い男女が、一流を目指し、日々の訓練の成果を発揮して、真剣に競技に取り組む姿をまのあたりにして、そこに物づくり、仕事の原点を見る思いがいたしました。

また、新聞の投稿欄に、人材の育成に関する

興味深い記事が掲載されておりました。

山形県天童市のある若者が、19歳で将棋の駒師の道へ入りました。駒づくりの師匠は、日本屈指の名工と称される父親。「一切の手抜きをしないことが、一流と二流の違い」との教えのまま、必死に彫った力作を父に見せますが、そのたびに突き返されました。それでも、逃げたい心を捨てて修業に徹した末、自分にしかできない表現をつかむことができました。彼は今、天童市で最年少の伝統工芸士として活躍をしているそうです。

昨今、建設業界の偽装問題が世間を騒がせています。これまで、お客様に安心・安全を提供するのが責務と当たり前のように思っていたが、残念なことにそれを覆された出来事でした。今後、電気工事業界として、このような不祥事を起こさないために、皆様よりご意見ご要望をいただき、より良い事業を各委員会とも討議し、技術研究、各講習会等を検討し、魅力ある組合の構築と皆様にお役に立てるよう、日々努力していきたいと思っております。

また、「地方創生元年」といわれた昨年、本県の人口は戦後初めて230万人を割ったと報道されています。電気工事業界として「人材発掘、人材育成」を推進し、後継者づくりに力を注いでいかなければならないと思っております。

最後に、本年も皆様方にとってすばらしい年になります事をご祈念申し上げて、新年のご挨拶といたします。

年頭のご挨拶



引込線事業の新たな飛躍をめざして

引込線事業委員長

荻 荘 賢 一

新年あけましておめでとうございます。

日頃は、引込線事業に関しまして、多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、日本経済は、アベノミクスによる好循環を背景に、円安、株高、原油価格の下落などの影響により、製造業を中心に緩やかではありますが回復基調が期待される所であります。

電力業界に目を向けると、電気事業法の改正に伴い、「電力広域的運営推進機関」並びに「電力取引等監視委員会」が設立され、本年4月からは「電力小売完全自由化」、2020年には「送配電部門の法的分離」の三段階で電力システム改革が進められます。このように今までに経験したことの無い大きな変革が、我々電気工事業界にも押し寄せてくることが想定されます。

委員会としては、引込線会社協議会の意見を踏まえながら、仕事量の拡大に向けて関係各位と協議を重ねて参りました。引込線に関する技術は蓄積されてきており、業務拡大の体制を整えてきたところ、前述の電力小売完全自由化、送配電事業の環境変化の中で、念願でありました施工範囲の拡大の一步となる「劣化線張替工事」並びにスイッチングに伴う「スマートメーターへの取替」工事が、配電付託という形で本年より本部引込線事業部に発注されることになりました。

従来の引込委託とは異なり、計画的に予算化された工事となるため、安定した業務量を確保でき、経営の安定化にも寄与するものと考えられます。この新たな仕事を安心して任せて頂けるよう、間違いない施工体制を確立するため、使命を果たしていききたいと考えております。

また、委員会としては「安全第一」を掲げ、絶対に事故をおこさないということを柱に、「基本を大切に」を実践してまいりました。組合員の安全意識の高まりとともに、毎年行っている新人向け危険予知訓練・引込線訓練も、多数の受講生を迎え、インストラクターの熱血指導のもと年々充実した訓練となっており、安全作業への期待が高まっています。今年も2月には「第4回安全大会」を予定しており、組合一丸となって安全に対するその思いを共有したいと考えております。

非常に変化の激しい社会環境の中ではありますが、様々な変化に対してスピーディーで適切な対応を取るために、皆様方の英知をお借りしながらこの厳しい時代を乗り切って参りたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

新年ご挨拶

県青年部会長

星野泰助

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素は新潟県電気工事工業組合青年部活動にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。

平成27年度理事総会におきまして、品田史夫前会長からバトンを受け、微力ながら会長職を仰せつかることになりました。新潟県工組青年部理事、陪席（陪席は現在廃止）として約10年間在籍させて頂き、県内外各地の諸先輩方、多くの仲間と出会い様々な活動を通じて電気工事の業界に携わる人間として多様な面で勉強させて頂き、そして成長させて頂きました。今度は我々新潟県工組青年部の為、何ができるか考え実行する立場となりましたので諸先輩方の築いてこられた青年部の歴史に恥じない様、そして私自身のカラーが出る2年間にしたいと考えております。

昨年より親会との共催で実施させて頂いている電気系を履修する高校生との交流事業は我々の業界の慢性的な人材不足解消対策として人材確保・育成を目的に今後も継続事業として実施される運びとなっております。その際には工業高校の地元支部の親会、青年部の皆様のお力をお借り致しますことに感謝致します。

我々青年部として若手人材確保・業界イメージ向上を目的として「新潟電工ガール」プロジェクトを目下実施中でございます。新潟県内の実

在の女性電工様にご協力を頂きまして新潟電工ガールパンフレットを作成しました。高校生との交流事業にて高校生へ配布や業界内外への全国的な発信の足掛かりとして今後も進めて参ります。各都道府県青年部会長にこのパンフレットを配布し、事業説明をする機会があり、好評を頂いておりますことを付け加えます。

また、本年4月から電力完全自由化に向けて様々な電気事業者との懇談、比較検討できる研修会を企画し、我々個々のお客様に対してメリットがあるのかないのかを判断できる知識を持てる様にしていかななくてはなりません。青年部としてもこの件を検討したいと考えております。

新潟県青年部会員相互の交流を目的としたスポーツ大会も前回開催で10年目の節目を迎えました。全国的にみても県内から100名以上の仲間が集まって1つの事業を成すことは例の無いことです。参加して頂ける青年部の皆様が一人でも多くの仲間を作り、情報や仕事の悩みを共有できる場になるように益々のブラッシュアップを図りたいと考えます。

「THE 青年部！」これぞ青年部！の発想、実行力で県内250名の青年部の皆様と共に企画、参加していきましょう！

この新しい年がより佳き年になるよう心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせて頂きます。本年も宜しく願い申し上げます。

地域懇談会を開催

平成27年度の地域懇談会が、新発田支部並びに魚沼支部において開催されました。

地域懇談会は支部組合員と県本部役員が組合事業活動全般にわたる意見交換を行い、各支部の実情・ニーズを把握し、より適切な組合運営を図ることを目的に、総務委員会事業として毎年度二支部を廻って開催されるものです。

懇談会では、開会は両支部とも有坂総務委員長、進行は新発田支部では吉田副理事長、魚沼支部では横田副理事長ではじまり、小林理事長より組合の活動状況並びに東北七県電気工事業厚生年金基金、全日電工連国民年金基金の概況等について、各事業委員長より担当委員会、青年部会長より青年部の活動状況等について説明が行われ、その後、支部組合員との意見交換に移りました。

「新発田支部」

10月16日、新発田市のアーデ・ギャレで新発田支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員・事業委員長他16名、新発田支部より役員・組合員他32名、合計48名が出席しました。

懇談会では、電力自由化に関して新規参入の電気事業者に対する本部の対応、オール電化PRの自粛等東日本大震災以降に損なわれた業界のイメージを回復するための取組み、国民年金基金の現状、東北電力㈱との引込線委託契約などについて、活発な意見交換が行われました。



齊藤支部長の挨拶

「魚沼支部」

10月30日、南魚沼市の坂戸城で魚沼支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員・事業委員長他15名、魚沼支部より役員・組合員他30名、合計45名が出席しました。

懇談会では、深刻な人手不足のなかで若手の人材確保に関する本部の対策、東北電力㈱の持株会としての行動目標、無資格者の防犯灯工事に対する対策、厚生年金基金の脱退・廃業した場合の取扱いなどについて、活発な意見交換が行われました。



真島支部長の挨拶



新発田支部組合員との意見交換



魚沼支部組合員との意見交換

平成27年度 事業承継・相続税研究セミナーを開催

11月10日（火）、新潟テルサにおいて経営企画推進委員会（山本進委員長）主催の平成27年度「事業承継・相続税研究セミナー」を開催いたしました。

本セミナーは、事業承継をお考えの経営者並びに後継者の方を対象としたセミナーで、組合員各社より25名の方から受講を頂きました。

講師には、あすか中央税理士法人（株）江口経営センターの税理士・行政書士の並木純子様をお迎えし、事業承継の現状、相続の基礎知識、また事業承継の事例を具体的に紹介しながら分かりやすくご説明を頂きました。

受講後に回答頂いたアンケートでは、受講者から、「新しい発見や、分からないことなどたくさんあるのだと思いました。」「非常に分かりやすく、上手な説明で参考になりました。早めに準備をして、実行に移す気になりました。」「もっと詳しく聞きたいと思いました。」等、多くの受講者から大変ご講評の感想を頂きました。

今回、セミナー開催にあたり、ご協力を頂きましたあすか中央税理士法人（株）江口経営セン



ターの並木様、石原様、またご参加頂きました皆様方、大変ありがとうございました。

経営企画推進委員会では今後とも人材育成に関するセミナーを多数開催していく予定ですので、ご参加いただけますようお願い申し上げます。



先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



三浦電機株式会社

代表取締役 小名 隆一

本 社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025) 274-0381
FAX (025) 274-0385
柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257) 24-3739
東 港 工 場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025) 255-4201

平成27年度 電気系教育・訓練機関の学生との交流事業 県央工業高校にて開催！

11月18日14:15より、三条市にある新潟県立県央工業高校にて高校生との交流事業が行われました。この事業は、当業界では昨今の少子高齢化による人材不足・技能継承が喫緊の課題となっておりますが、特に電気工事業は社会インフラの整備を担う重要な職務にも関わらず、仕事の内容や役割が外部から見えにくい一面があります。まずは次代を担う若者に「電気工事業界を知っていただく」ことが重要と考え、今年度、県下の電気系コースを履修する高校生の皆を対象に実施することとなりました。

そしてこの度、趣旨にご賛同いただいた県央工業高校のご協力の下、無事に第1回交流事業がスタートいたしました。

第一部は電気工事業の紹介です。

同校のメカトロニクスコース、情報電子コースの高校生76名を対象に品田県青年部顧問を講師に行われました。パワーポイントを使用しながらの約40分間、「新潟電工ガール」のパンフも配布し電気工事業界をPRしました。

実際の腰道具を高校生に装備体験していただく一幕もありました。

質疑では「電気工事士になるために今から準備しておくことは？」「電気工事で死ぬことはありますか？」「給料はいくらですか？」等々出されました。

第二部は第二種電気工事士の筆記試験合格者を対象に実技試験の指導を行いました。

まずは、本番さながらに課題を作成していく様子を見守りましたが、毎日熱心に練習しているというだけあって、生徒は着々と作業を進めていきます。

完成後、実際の電気工事士（青年部の皆さん）からのアドバイスやチェックが入りました。

青年部はさすがプロ！生徒の見る目が変わります。教える方も教わる方も時間を忘れるほど白熱し、予定時刻を大幅に延長してしまったりでした。

青年部はさすがプロ！生徒の見る目が変わります。教える方も教わる方も時間を忘れるほど白熱し、予定時刻を大幅に延長してしまったりでした。

こうして、平成27年度第1回交流事業は無事に終了いたしました。

最後になりましたが、県央工業学校関係者の皆様、三条、燕支部の青年部、親会の皆様、品田県青年部顧問、大変ありがとうございました。

次回は平成28年1月13日新潟工業高校にて開催し、以降長岡、柏崎、上越と予定しています。



第53回技能五輪全国大会 視察研修

平成27年12月5日（土）千葉県幕張メッセにて、横田副理事長、並びに齊藤技術委員長は



はじめ技術委員、事務局の計11名参加のもと『第53回技能五輪全国大会』の視察研修を行いました。



技能五輪全国大会は、青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会であります。その目的は、次代を担う青年技能者に努力目標を与えると同時に、大会開催地域の若年者に優れた技能を身近にふれる機会を提供するなど、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成を図ることにあり、我が国で初めて技能五輪全国大会が開催されたのは、1963年（昭和38年）月に東京で開催されたのが最初でありました。

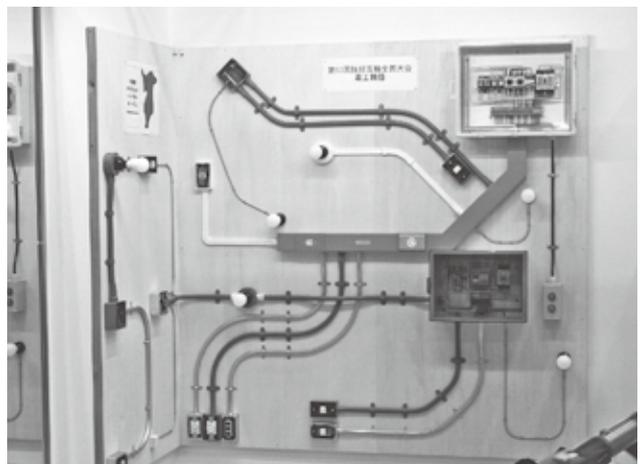
『第53回技能五輪全国大会』の開催期間は、12月4日（金）～12月7日（月）までの4日間で、開催場所は、幕張メッセをはじめ千葉職業能力開発センター等の計13会場で41競技約1,200名が熱戦を繰り広げられていました。

『電工』の部は、出場選手40名、競技時間8：30～15：40の計6時間20分で、課題は代表的な工事である「金属管工事」・「合成樹脂管工事」・「ケーブル工事」・「PF管工事」・



「ダクト工事」・「金属線ぴ工事」を組み合わせられた内容になり、その中に、各種制御機器を用いたモータ制御や小型PLCを使った電灯制御の回路の施工も含まれていました。

来年度の第54回の開催地は山形県です。今大会には新潟県からの出場はありませんでしたが、来年度に期待したいと思います。



第31回

電気工事業全国大会(中国・山口大会)に参加!

11月12日、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）主催、全中国電気工事組合連合会主管による第31回電気工事業全国大会（中国・山口大会）が、山口県宇部市において、全国の組合員、青年部、ご来賓など約1,400名参加のもと盛大に開催され、当工組からは親会5名、青年部6名、事務局2名の計13名が参加しました。

今回で第31回目となる大会は、メインテーマに『山口（はな）燃ゆ!!「輝く明日の電気工事業』、サブテーマに『次世代への継承「仕事づくり・ひとづくり・ふるさとづくり』』を掲げ、午前中に国際ホテル宇部にて「意見交換会」、宇部市文化会館にて「記念講演会」、午後からは渡辺翁記念会館にて「大会式典」、ANAクラウンプラザホテル宇部にて「交流会」が開催されました。また、会場内では企業展示、物産品コーナーも併設されました。



会場前にて記念撮影（親会・青年部）

午前10時より行われた「意見交換会」には、全国の組合員、青年部会員合わせ約500名が参加。全53テーブルに分かれ、「仕事づくり」「ひとづくり」「ふるさとづくり」の3つのテーマについて、活発な意見交換が行われました。本意見交換会には、当工組青年部から星野会長はじめ6名が参加しました。（意見交換会の詳細は別頁の県青年部記事をご覧ください。）

午前10時30分より行われた「記念講演会」では、池谷裕二氏（東京大学・大学院薬学系研究科・教授）を講師に迎え、『脳の使い方』をテーマにご講演いただきました。

続いて13時30分より行われた「大会式典」では、前村隆規全中国電気工事組合連合会会長による開会宣言、米沢寛全日電工連会長の主催者挨拶、安倍晋三首相メッセージ、来賓祝辞、役員功労者表彰、優良事業工組表彰、優良事業工組・青年部優良活動事例発表、意見交換会報告、大会決議（別掲）、次回全国大会と第2回技能競技全国大会の紹介等が行われました。また、今回で2回目となる「優良事業工組表彰」では、応募20事業の中から「三重県電気工事業工業組合青年部会（事業内容：工業高校生との意見交換会・次世代育成事業）」が金賞に輝きました。銀賞は該当なし、銅賞は2工組、当工組は優良賞を受賞しました。



大会式典

大会式典終了後に行われた「交流会」では、終始和やかな雰囲気の中、全国の組合員、青年部の皆様との交流を深め、全日電工連の小林功副会長（当工組理事長）の閉宴挨拶で全国大会は幕を閉じました。2015年NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台である山口県で、全国の組合員、青年部の皆様と交流を深めるとともに、「仕事づくり・ひとづくり・ふるさとづくり」について電気工事業のあるべき姿を真剣に討議しあった大変有意義な全国大会でした。今大会の開催にご尽力されました全中国電気工事組合連合会・山口

県電気工事工業組合の皆様、関係者の皆様、大変ありがとうございました。



交流会閉宴挨拶（小林功全日電工連副会長・当工組理事長）

（別掲）

第31回電気工事業全国大会

「大会決議」

2016年電力小売りの全面自由化 2020年 発送配電の法的分離という我が国の電気の歴史を変える法改正を目前に日本の歴史を大きく変えてきた重要な地である山口県において電気工事業全国大会を開催することが出来たことを心から感謝申し上げます

今回の全国大会は「山口燃ゆ!!」^{はな}「輝く明日の電気工事業」^{あした}をメインテーマに業界の担い手確保ならびに電気工事業界のさらなる発展に向け「お客様満足を第一とした仕事づくり」「次世代を託するに足るひとづくり」「社会インフラを支える電気工事を通した豊かなふるさとづくり」を目指し我々組合員だけでなく広く各界の皆様方からもご提言いただき討議を重ねてまいりました

国民が一定の生活水準と繁栄を維持するためにはインフラである電力の安定供給を欠かすことは出来ません

全日電工連はいつの時代にあっても低廉で安定した電力を社会に24時間安全・安心にお届けするという大きな社会的使命が課せられてきました。来年に迫った電力小売りの全面自由化をはじめ発送配電が分離される2020年をひとつの目途として電気工事業界も時代に即応した変革が求められています。こうした時代の変革をひとつのビジネスチャンスと考えこの機に何が可能か広く地域社会に対して電気のプロとして何を貢献できるかさらに熟考を重ねなければなりません

折から電力の全面自由化に対し資源に乏しい我が国においてエネルギーの安定確保という大きな課題があります。東日本大震災以来論議されている原発問題は我が国においては重要なベースロード電源と考えます。この8月には念願がかない再稼働となった川内原発に続いて安全が確認された原子力発電所の早期稼働を業界あげて引き続き各方面に強く要請していかねばなりません

本日ここに全国各地から参加した組合員代表 青年部代表の総意として次の通り決議するものである

- 一 お客様に安全・安心な高品質施工の確保により適正な価格で業界の発展・繁栄に向けた正しい市場づくりを目指す
- 一 将来の担い手確保 高度技術者の育成強化を図りお客様から信頼される街の電気ドクターを一層推進する
- 一 電気のプロとして環境とエネルギーの調和に配慮した低廉なエネルギーの安定供給を通し豊かなふるさとづくりに貢献する

以上 関係行政 関係諸団体 関係企業等の一層のご指導ご支援を頂き全国の組合員は一致結束これらの課題解決に向け邁進することにより社会の負託に応える強い組織を目指すことを決議する

平成27年11月12日
第31回電気工事業全国大会

中央会創立60周年記念式典表彰

11月13日（金）、新潟県中小企業団体中央会の創立60周年記念式典がANAクラウンプラザホテル新潟で開催され、その席上で中小企業の振興発展に功績のあった組合並びに功労者等が表彰された。

当工組より、組合制度の普及と組合の育成強化に尽くした功績が顕著であるとして、当工組理事長の小林功氏が中小企業庁長官表彰、当工組副理事長の齊藤隆氏、並びに当工組理事の荻荘賢一氏、斎藤賢氏、小田保積氏、本山秀樹氏が新潟県中小企業団体中央会会長表彰を受賞した。

また、組合の業務に長年に携わり、他の範とするに足る者として、新発田支部事務局の植木文安氏、魚沼支部事務局の井口美代子氏、並びに本部事務局の西村直人氏、鷺尾綾子氏、高橋由美子氏が新潟県中小企業団体中央会会長表彰を受賞した。

▼中小企業庁長官表彰 組合功労者



有限会社 富士電気工事店
代表取締役
小林 功 氏
(上越支部)



共栄電気 株式会社
代表取締役社長
斎藤 賢 氏
(新潟支部)



株式会社 平山電気商会
代表取締役社長
小田 保積 氏
(村上支部)

▼新潟県中小企業団体中央会会長表彰 組合功労者



第四電設 株式会社
代表取締役
齊藤 隆 氏
(長岡支部)



大和電建 株式会社
代表取締役社長
本山 秀樹 氏
(上越支部)



株式会社 荻荘電機
代表取締役社長
荻荘 賢一 氏
(新潟支部)

▼新潟県中小企業団体中央会会長表彰 優良事務局専従者

植木 文安 氏 (新発田支部)
井口美代子 氏 (魚沼支部)
西村 直人 氏 (本部)
鷺尾 綾子 氏 (本部)
高橋由美子 氏 (本部)

平成27年度

新潟県知事表彰

去る 11 月 20 日、平成 27 年度新潟県知事表彰の表彰式が新潟県庁講堂で行われ、事業の推進に貢献し、顕著な功績のあった者が表彰された。

表彰式では、当工組から一般功労者として元理事長の荻荘潤一氏が、長年にわたり業界団体の役員を務め、県内業界並びに当該団体の発展に顕著な功績を挙げたとして表彰された。

▼平成27年度 新潟県知事表彰



株式会社 荻荘電機
代表取締役会長
荻荘 潤一 氏
(新潟支部)

平成27年度

優秀施工者国土交通大臣顕彰

去る 10 月 9 日、平成 27 年度優秀施工者国土交通大臣顕彰の顕彰式が、東京都港区メルパルクホールで行われ、技術・技能が優秀で、他の模範である施工者が顕彰された。

当工組より、株式会社荻荘電機 金田隆洋氏が多くの電気設備工事に携わり、優秀な施工実績を残しているとして顕彰された。

▼平成27年度
優秀施工者国土交通大臣顕彰



株式会社 荻荘電機
第二工事部 工事課長
金田 隆洋 氏
(新潟支部)

第23回

新潟県優秀施工者知事表彰

去る 11 月 9 日、第 23 回新潟県優秀施工者表彰の表彰式が新潟県庁講堂で行われ、施工成績が特に優秀な施工者が表彰された。

当工組より、株式会社荻荘電機 佐藤雅明氏が電気設備工事の施工管理が優秀であるとして表彰された。

▼第23回 優秀施工者新潟県知事表彰



株式会社 荻荘電機
第二工事部
工事課リーダー
佐藤 雅明 氏
(新潟支部)

第29回

消防設備保安功労者表彰

▼第29回 消防設備保安功労者表彰

去る10月30日、第29回新潟県保安大会表彰式が新潟県庁講堂で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保安功労者として副理事長の吉田徳治氏が、地域社会における消防用設備の設置並びに維持管理と、消防設備に係る安全保安管理体制の確立に尽力した功績により、新潟県知事から表彰された。



第一電設工業 株式会社
取締役社長
吉田 徳治 氏
(新潟支部)

平成28年度 消防関係試験実施計画 (案)

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

1. 危険物取扱者試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H28. 6. 4 (土)	H28. 4. 17 (日) ~ 5. 3 (火)	H28. 4. 20 (水) ~ 5. 6 (金)	甲種・乙種第1~6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市 新発田市 佐渡市
H28. 8. 28 (日)	H28. 7. 10 (日) ~ 7. 24 (日)	H28. 7. 13 (水) ~ 7. 27 (水)	甲種・乙種第1~6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市 三条市
H28. 11. 20 (日)	H28. 10. 2 (日) ~ 10. 17 (月)	H28. 10. 5 (水) ~ 10. 20 (木)	甲種・乙種第1~6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市
H29. 3. 4 (土)	H29. 1. 8 (日) ~ 1. 22 (日)	H29. 1. 11 (水) ~ 1. 25 (水)	甲種・乙種第1~6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市

2. 消防設備士試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H28. 6. 18 (土)	H28. 5. 3 (火) ~ 5. 17 (火)	H28. 5. 6 (金) ~ 5. 20 (金)	甲種第1~5類 乙種第1~7類	新潟市 長岡市 上越市
H28. 10. 16 (日)	H28. 8. 28 (日) ~ 9. 11 (日)	H28. 8. 31 (水) ~ 9. 14 (水)	甲種特類 甲種第1~5類 乙種第1~7類	新潟市 長岡市 上越市
H29. 3. 11 (土)	H29. 1. 22 (日) ~ 2. 5 (日)	H29. 1. 25 (水) ~ 2. 8 (水)	甲種第1~5類 乙種第1~7類	新潟市 長岡市 上越市

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で3月中旬頃から配布をする予定です。
※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階703号
TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

新潟支部

秋の恒例行事

秋の恒例行事が執り行われました。

その一つとして、県内各支部で行われているように、新潟支部内でも引込線以下委託契約安全作業実技訓練を計画し、東北電力㈱新潟営業所の関係者の皆さんを指導者として派遣して頂き、新潟支部訓練施設で10月14日・15日・16日に実施いたしました。

訓練受講事業所の昇降柱実技訓練の前に、近年、梯子に関係する重篤な事故が発生していたことにより、昨年に引き続き「梯子の安全な取り扱い」を、東北電力㈱新潟営業所の皆様から実際に梯子を使用して昇降の模範を示して頂きました。

内容は、電柱を対象物として、梯子の立て掛け角度の確認は無論、梯子自体と立て掛け面周辺の事前点検から始まり、梯子への人による支持、ロープでの電柱への緊縛固定、梯子上での安全帯ロープの使用方法等の詳しい説明を受け、梯子の立ち位置と作業姿勢の確認をする事が出来ました。

受講者は、落下の可能性のある梯子上での作業姿勢や方法等、具体的な指導を目前で受けられ、尚且つ、質疑応答で、屋根に掛ける場合等、より現場での作業に沿った使用方法も確認する事が出来て有意義な訓練でしたと感想を述べていました。

もう一つ、秋の行事といえば、多くの表彰式があります。今年も、新潟支部内の組合員事業

所から、新潟市中小企業優良従業員13名、新潟市技能功労者1名、新潟県優秀施工者1名、優秀施工者国土交通大臣顕彰1名の受賞者を輩出しました。

いずれも、勤務及び施工年数を積み上げていく事が大前提の表彰になります。その長年に渡る年数は、本人はもとより家族や周囲の方々の支えで、大過なく健常にご過ごされて今日までその業務を遂行し継続されてこられたことの証明であり、尊敬に値することです。

更に、表彰基準によっては、その長い期間で無事故無災害を達成する事が求められています。これは一秒・一日・一年の積み重ねで、本人の「事故を起こさない」という強い意志があればこそその結果です。その上に、他者に比べ、高度な技術と知識を持って工夫改善を行ったり、後進の指導を行ったり、率先垂範型の業務遂行等で所属事業所の事業発展への貢献はいうまでもなく、顧客の満足度を上げ、社外からの感謝の証を授かったりする事も含まれています。

受賞者からは、自分自身には過分の評価と、謙遜された感想をお聞きしますが、そのことが改めて受賞に値する方々と納得する次第であります。

誠実な行いは報われる様に、実際の業務につながる実技訓練と、業務の継続によって授かる表彰が、一つのつながりの様に見えるような、毎年のことですが、秋の大切な出来事でした。



引込線実技訓練



優良従業員表彰式

村上支部

ご当地ヒーロー&ゆるキャラ大集合

北は北海道から南は沖縄まで全49団体総勢104キャラクターが撮影に参加して、「日本ローカルヒーロー大決戦」が11月14日に公開されました。

新潟からは、全国的に知名度のある「超耕21ガッター」が出演しております。

知名度はいまひとつですが、村上にも超人気の「キャプテン・ムラカミ」、知っている人は知っている? 「ライスレンジャー」、そして村上市観光キャラクターの「サケリン」が活躍しています。今回は皆様に、村上が誇るヒーロー&ゆるキャラを紹介いたします。



キャプテン・ムラカミ

「キャプテン・ムラカミ」は、平和で豊かな町村上を国際犯罪組織「サイアー」から守るため日々戦っています。度重なる作戦の失敗に最高司令官「ノストラマスク将

軍」は、世界中のサイアー支部から幹部を集結する。恐怖の幹部たちの猛攻から村上を守れるのか? 戦いは続きます… ハイパーバトルアクションがすごく、カッコイイヒーローショーです。老若男女、みんなのヒーローです!!!

「ライスレンジャー」は、あさひ商工まつりなどでヒーローショーを行っています。

ショーでは、子供たちの「がんばれ! 負けるな! やっつけろ!」の声援に勇気を貰い、悪と戦っています。やはり皆のヒーローです。



ライスレンジャー

村上市観光キャラクターの「サケリン」は、皆様にお目にかかる機会も沢山ありますのでご存知かもしれませんが、紹介させていただきます。

愛称の「サケリン」は、名産の「鮭とお酒」、「人情(なさけ)」の「サケ」から命名いたしました。誕生日は11月11日、年齢は永遠の20歳、好きな飲み物は〆張都鶴と大洋盛、好きなおつまみは鮭の酒びたし、趣味はゴルフとスキー、口癖はだぁまたせ〜、自慢出来る事は村上茶ソムリエの資格がある。

11月21~23日開催の「ゆるキャラグランプリ2015」では、1,727体エントリー中の総合1,105位、ご当地737位でした。来年は今年より順位が上がるよう応援しましょう!

いろんな所で村上の観光をPRしている「サケリン」を見かけたら、声を掛けてください!

村上はこれから、今が旬の「鮭料理」、美味しい「地酒」、荒海を見ながら入浴「瀬波温泉」、そして何より人情に厚い。

皆様、ヒーロー&ゆるキャラに会いに「村上」においで下さい。

お待ちしております。



サケリン

県 青 年 部

平成27年度 移動理事会・経営セミナーを開催！



会長挨拶

県青年部（星野泰助会長）は、11月27日に瀬波温泉 大観荘せなみの湯にて移動理事会、合同委員会を開催し、県青年部理事・監事24名、事務局1名の計25名が出席しました。移動理事会では、議長に皆川光司氏（燕支部）を選出し審議を

行い、移動理事会に続いて各委員会が開催されました。

各議案については下記のとおりです。

〔移動理事会議案〕

第1号議案 収支中間報告について

〔交流・情報委員会議案〕

- (1) 年部支部間交流親善スポーツ大会(in三条)の反省と次回(in魚沼)へ向けての意見交換
- (2) 平成27年度事業の具体的推進について

〔経営・技術委員会議案〕

- (1) 平成27年度事業の具体的推進について

また移動理事会・合同委員会終了後、県青年部と新潟県中小企業団体中央会共催による「平成27年度青年部経営セミナー」を開催し、村上支部他各青年部会員7名を加えた計32名が出席しました。



合同委員会

はじめに星野会長挨拶、渡邊経営・技術委員長による講師紹介ののち、「社長が変われば社員が変わる！“夢を持とう”経営者のためのセミナー」と題して、株式会社カネタ建設 代表取締役 猪又 直登様をお迎えしご講演いただきました。終了後参加者からは「集中して聴けた」「参加して良かった」「今後に生かしたい」という声が多く寄せられました。

終了後は懇親会を開催し、講師にも引き続きご参加いただき、参加者は大いに交流を深めま



移動理事会



経営セミナー

した。

当日はあいにくの悪天候となり、会場に向かう途中アラレで一面真っ白になる場面もありましたが、当日欠席なく開催できました。(特に、

佐渡支部の2名は朝一番のフェリーに乗り(それ以降欠航)、在来線を乗り継いで(JR 特急いなほ運休)参加されました!)皆様大変お疲れ様でした。

第31回 電気工事業全国大会 意見交換会に参加!

11月12日山口県宇部市の国際ホテル宇部にて第31回電気工事業全国大会 意見交換会が「仕事づくり」「ひとづくり」「ふるさとづくり」をテーマに開催され400名を超える組合員・青年部会員が参加しました。初めに全日電工連 米沢会長による挨拶ののちテーブルごとに意見交換が始まりました。

新潟県工組からは県青年部三役・顧問の6名が参加し、今回は各自名刺の他に「新潟電工ガール」のパンフレットと共に挑みました。新

潟県のこの取組への反応はとても良かったようです。そして各テーブルにて活発なやりとりがなされていました。青年部恒例として定着したこの意見交換会。参加者からは「意見交換会では全国各地の情報交換や仲間づくりができる」といった感想が多数寄せられました。平成28年は東北七県青年部会員大会や全国青年部会員大会も予定されていますので、青年部会員の皆様、奮ってご参加ください!



DXアンテナ

業界初 この1台で33dB形としても43dB形としてもスイッチひとつでどちらでも使える

新発売
家庭用ブースター

33dB/43dB共用形
CS/BS-IF・UHFブースター
GCU433D1
希望小売価格 32,000円(税込)

33dB/43dB共用形
UHFブースター
BU433D1
希望小売価格 13,000円(税込)

CS/BS-IFブースター
GC30
希望小売価格 25,800円(税込)

33dB形 + 43dB形 共用

1台2役

1台でOK!

どちらでも使えるから
もう現場で迷わない!

デュアルブースター™
(GC30を除く)

お様の声で
できました!

手間なし!

ケース内に「出力モニター端子」がありますので、フタを開ければすぐに測定できます

ケーブルの加工・接続の状態をLEDでお知らせ!

電源部

増幅部 ※2015年7月現在 家庭用として(当社調べ)

DXアンテナ株式会社 www.dxantenna.co.jp **新潟営業所** TEL(025)276-2166 (代) 〒950-0822 新潟市東区新岡山2丁目1番14号

●製品に関する詳しい情報・お問い合わせは...〈カスタマーセンター〉 ☎0120-941-542

柏崎支部青年部

活 動 報 告

今年度の柏崎支部青年部では行事が盛りだくさんでした。

春の耐压試験・親組合のお手伝いで子どもお仕事体験教室・教養研修会と納涼会・こちらも親組合のお手伝いで職人フェア2015・秋の耐压試験・ボランティア活動・ボウリング大会と忘年会とあっという間の上半期でした。この中からいくつかご紹介させていただきます。

まず子どもお仕事体験教室ですが、第2回子どもお仕事体験教室と称しまして8月23日(日)に柏崎文化会館アルフォーレの建物内・駐車場フルに使いまして開催されました。

こちらは柏崎青年会議所主催のイベントで柏崎電気工事協同組合として青年部主体で参加させていただきました。

柏崎・刈羽のたくさんの業種・業者様が集まり子どもたちにお仕事を体験していただく企画です。

電気工事協同組合としましては高所作業車の試乗体験と自転車発電、IVを圧着ペンチとスリーブで圧着するなどを体験していただき、写真にて様々な電気工事のお仕事をご説明させていただきました。

特に高所作業車の試乗体験では高い所から広



い会場や沢山の人達を眺められるということでも遊園地感覚でしょうか、大変人気がありオペレーターはなかなか休憩もとれないくらい好評でした。体験ということで隣接する建物を利用して模範作業や

進め方なども見ていただき、電気工事のお仕事も理解していただけたのではないかと思います。

次に職人フェア2015ですが、こちらは3年に1回の開催で同じく柏崎・刈羽から沢山の業種・業者・組合が集まり老若男女問わずその業界の特色を生かした内容にて体験・勉強しておりました。

このイベントも電気工事協同組合として青年部主体で参加させていただきました。東北電力様と問屋・メーカー様にもご協力いただき、IHクッキングヒーターの演習・試食をはじめ照明器具やドアホン、HEMS機器などを展示・アピール、そして自転車発電も体験していただきました。



現在、新潟県電気工事組合では電気系教育・訓練機関の学生との交流事業を実施し若手・後継者等の育成に取り組んでいるわけですが、この上記2つのイベントを通して小さい子供たちをはじめ多くの方々に電気工事を体験していただき、少しでも興味をもっていただければにより更に明るい業界を築いていけるのではないかと思います。私たちが参加者も教え方・アピールの仕方など勉強させていただいたと思います。

今後も自分達をもっと磨き若手の育成をはじめ活気ある電気工事業界になるようまずは柏崎支部一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

上越支部青年部

幸福の双龍

真冬とも紛うことなき寒風が11月という早い時期にしてはやたらと吹き荒ぶ中、努めてカウントダウンをしていたデジタル時計の表示が0:00になるや否や、暗い山道と周辺の木々を照らしていた照明が消えた。何が始まるのかと固唾を呑む我々の眼前に炎を吐く美しい龍と彼の傍ら方々に散る至宝である龍珠が姿を現したのである。



上信越自動車道「妙高高原IC」から国道18号線を18km、暗いがしっかりと舗装された山道を30分車で走ると、とてもこの道を走ってきたのかとは思えないほど綺麗な夜景が顔を出す。上信越高原国立公園に雄大に聳える越後富士の麓に門を構えるアパリゾート上越妙高。この施設最大のアピールポイントとも言うべきイベントが「アパリゾート上越妙高イルミネーション2015 Myoko Happiness Illumination ～幸福を呼ぶ光の双龍～」であり、恒例となっていたレルヒ祭に際してのイルミネーションの工事中止に伴い11月13日にイルミネーション見学会を開催する運びとなった。

敷地内に保有する約3万㎡にも及ぶ旧ゴルフ

コース内に約150万球のLEDを使用した東日本最大級を誇るこのイベントは、昨シーズンに引き続き第二期として開催される。前年度よりもさらにエリアが拡大され、新コンテンツ・新演出を取り入れスケールアップした体感型イルミネーションを味わうことができるのだ。

広大なゴルフコース全体を、工事する側として考えると眩暈のするほどの数ではあるが、埋めつくさんとする大量のLED電球がそれぞれ役割を持って点き、互いに将来の幸せを願い鐘を鳴らした恋人達の前に二頭の龍として現れ二人を祝福する。しかし相見える龍は彼らだけではない。次世代照明を使用した世界初の「有機EL龍」、幅約40m×高さ約18mの巨大なウォータースクリーンに映し出される「ウォータープロジェクションマッピング」が新エリアの目玉として登場する。これらの龍を演出する細かい仕掛けもとても興味深く感じた。

まだ訪れたことのない方々は是非とも赴いて頂きたいが、本年度の営業は終了しており、再度現れるのは来年度になるのが残念である。



魚沼支部青年部

HEMSって？

魚沼地区は夏には猛暑、冬ともなると東西南北どこへ行っても雪だらけの豪雪地帯、なかなか厳しい環境の中、日々精進しております。

そんな環境で育ったせいも、控えめでおとなしい青年部一同です。

しかし自然豊かな分、風光明媚！米どころ！温泉郷にスキー場！今年の2月にはアルペンスキーW杯開催、最近では野外フェスなどイベント盛りだくさんな地でございます。

我々も耐えているばかりではなく、何か行動を…と会長の提案のもと去る平成27年11月19日、東芝ライテック様を講師に迎え「太陽光発電～蓄電池連携HEMS」について経営技術研修会を開催いたしました。

我々の生活に絶対不可欠なエネルギー、より良く利用できるように機器などの高性能化が目まぐるしい近年、私個人恥ずかしながら「HEMS（ヘムス）」とは聞いた事はありませんでしたが、ほとんど理解はしていませんでした。

「HEMS（ヘムス）」ホームエネルギーマネジメントシステムの略だそうです。

簡単に言うと、家庭で使うエネルギーを節約するための管理システムで、電気設備機器やガ

スなどの使用量をモニター画面などで「見える化、わかる化」しピークコントロールやタブレット機器からの操作「自動制御」できるとのことです。

スマートメーターの設置や電力小売自由化が進むなか、電力事情も重要課題となっており様々なサービス提供が予想され、メリット、デメリットを把握する手段として有効に活用する事ができ、また太陽光発電～蓄電池の連携により経済性向上、環境負荷削減、停電時、非常時への備えとして先を見据えおおいに期待されているそうです。

エネルギーを高効率利用できる一環として、大変貴重なお話をいただく事ができたなか、有用な意見交換もされ有意義に研修会を終える事ができました。

導入に伴い高価なものであり、安易にお勧めできない事実ではありますが、たくさんの方々に興味をもっていただくと同時に、業界発展、ユーザー様などお力添えできればと、考えております。

(ちなみに〇〇さんはみんなに黙って工事用IDを取得してくるそうです!!)



新潟県電気工事工業組合担当による 第一種電気工事士定期講習の開催について

新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習を下記により開催します。

新潟県電気工事工業組合が所属する『(一財)電気技術者試験センター』にご登録していただいている方につきましては、受講時期に合わせてご自宅へ「講習申込書」と「会場一覧表」が郵送されます。ご登録いただいていない方にはご案内がいきませんので必要な方は当団体に登録をお願いいたします。

【問い合わせ先】 新潟県電気工事工業組合

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6-1203 TEL 025-229-1587



平成27年度 第一種電気工事士定期講習会開催

開催日	会場	
平成28年2月4日(木)	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室

平成27年度 第一種電気工事士定期講習会開催(予定)

開催日	会場	
平成28年4月18日(月)	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室
9月26日(月)	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室
平成29年1月16日(月)	新潟ユニゾンプラザ	4階 大研修室

■新潟ユニゾンプラザ 新潟市中央区上所2-2-2 TEL 025-281-5511

皆
様
へ
組
合
員
の

なるべく新潟県電気工事工業組合受付の講習会を受講していただけるようご協力お願いいたします。

変圧器／ヒューズ／開閉器／受配電設備／配電自動化機器／監視制御システム／
太陽光発電用パワーコンディショナ／高周波電源／溶接機／切断機／ロボット

DAIHEN

株式会社ダイヘン

本社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1-11 TEL 06(6301)1212

東北支社 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目7番地7 TEL 022(218)0942

<http://www.daihen.co.jp/>

組合員の異動

平成27年9月～平成27年12月理事会承認分

日付		支部	
H27.12.17	新規	柏崎	(有)大塩電気
H27.12.17	新規	柏崎	電幸社
H28.3.31	脱退	新潟	熊谷電業社
H28.3.31	脱退	村上	(有)村上電設工業
H28.3.31	脱退	燕	(株)松井電気工事
H28.3.31	脱退	柏崎	功晋デンキ

組合員の変更

平成27年10月～平成27年12月組合提出分

支部	事務所	変更箇所	変更前	変更後
新潟	(株)高杉電気	代表者	高杉良昭	池田卓史
	高張電気工事店	代表者	高張一夫	高張一成
村上	磯部電業	住所	〒958-0854 村上市田端町17-5	〒959-3406 村上市下助渕722-3
		T E L	0254-52-5601	0254-75-5311
		F A X	0254-52-3507	0254-75-5312
新発田	苜栄ライフ(株)	代表者	齋藤経世	佐藤哲也
	(有)山崎電気商会	住所	〒959-2025 阿賀野市岡山町3-16	〒959-2055 阿賀野市堀越2209-2
新津	(株)デンコー	代表者	渡辺正栄	渡邊正志
三条	(株)三共電機	代表者	高橋研一	高橋裕介
	塚野電気	代表者	塚野晋二	塚野隆
長岡	(有)栃尾電業社	代表者	田村日出里	田村勝男
	和興電機(株)	代表者	高木勇	高木康成
小千谷	(株)C H 高野	商号	(株)シー・エッチ高野	(株)C H 高野
	(有)匠電社	代表者	飯田和弘	吉田亨
上越	(有)太田電業	代表者	太田三夫	太田一巳
	(株)新興電設	商号	新興電設商会	(株)新興電設
魚沼	(株)T・Eワークス	商号	T・Eワークス	(株)T・Eワークス
佐渡	(有)コンドーシステム	商号	近藤電気商会	(有)コンドーシステム
	羽茂共栄電気	代表者	山田忠男	山田真一



企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の
よりよい福祉の向上を目指す。

東北七県電気工事業厚生年金基金

理事長 小林 功

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁157番地

TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843

編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

<管理部門> TEL 025(229)4101

<資材部門> TEL 025(229)1586

印刷：株式会社 大創

やっただつもり
見たつもり
つもり積もれば
事故のもと

〈安全標語〉 上越支部 大和電建㈱ 金井正人

新潟県電気工事工業組合